

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
<p>1 原子力災害時避難計画、各種訓練に問題はないか</p>	<p>(1) 原子力災害時にバスで避難する際、バス会社との契約で1ミリシーベルトを超えた場合、バスを派遣できないということですが、間違いありませんか。</p> <p>(2) 避難訓練時に登米の退域時検査場所にて車や人の除染の訓練を行った際、ウェットペーパーで、さっと拭いただけでしたが、本当に除染されているのか心配でした。この方法で訓練としては問題ありませんか。</p> <p>(3) 東北電力で、8月8日に大規模な自然災害などによる施設の損壊を想定した訓練中に3名の方が熱中症や脱水症状を起こし訓練を中断するという事象がありました。訓練中断は発災時の対応として想定不足とも取れますが、町としてどのような対応を求めましたか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問者 高野 晃

質問事項	質問の要旨
<p>2 変化する漁業環境、今後の漁業政策は</p>	<p>温暖化での海水温上昇や中国、韓国の輸入禁止措置等で本町の海面漁業、養殖漁業にも大きな影響が出ています。基幹産業である海面漁業、養殖漁業を将来的にどのような方向に進めていくのかを伺います。</p> <p>(1) 東北大学グループとのマナマコ増養殖システムの開発について、現時点での到達点と見通しは。</p> <p>(2) 宮城県知事は、6月に真珠の養殖構想を打ち出しましたが、本町にも協力要請等はきていますか。</p> <p>(3) 海面養殖、陸上養殖について、各所に視察を行っていると思いますが、本町のこれからの海面漁業、養殖漁業の展望、政策を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>